

佐賀県民謡 梅干し

皺しわは寄れども、あの梅干しは  
いろけいろけ すいすい やつやつ  
色気離れた粹な奴

誰か来たよな、垣根の外に

鳴いた鈴虫ね音を止めた

私しや青梅、揺り落とされて

しそしそ なじなじ  
紫蘇と馴染んで赤くなる

今は梅干し、昔は花よ

うぐいすな  
鶯啼かせた時もある

としとし にじゅうだい  
歳は二十代、わがとし共に

しじゅうしじゅう (四十)  
始終届かぬことばかり

かわばたほたる  
何をくよくよ、川端螢

はずはず  
どこの弾みで消えたやら

歌詞の二番以降は、筆者にて順序を変えてある。

大中臣正比呂 記

